受理番号第２号

令和４年５月２０日

守谷市議会議長　高橋　典久　様

陳　情 者
住　　所　守谷市百合ケ丘三丁目2787番地の58
氏　　名　松見　佐知子

守谷市が勧める新型コロナワクチン接種事業にかかわる陳情書

【陳情主旨】

１　新型コロナワクチン接種後の体調不良の市民への相談窓口の設置

２　新型コロナワクチン接種後の市内小中学校の児童への体調変化の聞き取り調査実施

【陳情理由】

厚労省発表2022/5/13現在、コロナワクチン接種後の死亡者1,711人、重篤な副反応報告21,807人となっています。しかし、これはごく一部と推測されます。先月発表された厚労省人口動態調査の2022年2月の単月の数字が出ましたが、死亡者数が前年比16.4%増とあり、19,490人も増加しています。すべてがワクチン接種と関連付けるのは横暴かもしれませんが、それほどまでに死亡者数が増える要因が他に考えられるでしょうか？実際に、市内のある中学校教諭からの話しでは、令和4年4月から5月の平均で一クラス約3.3名、毎日欠席の児童がいるということです。その欠席理由は頭痛や吐き気であり、これは、ワクチン接種をしたことによる後遺症ではないかと言っています。このような異常事態が起きているにも関わらず、市の教育委員会は事態を把握しているのか疑問です。接種させた保護者はワクチンによってそのような体調不良が起きるという事実を知らずに我が子に接種しているはずです。体調不良が起きてもそれがワクチンによるものとは気付かないでしょう。接種による後遺症が相談できる窓口を早急に設置し、それを広く市民に周知することが求められます。ワクチンの副反応や後遺症で継続的に具合が悪い人への治療費の補助も今後は保障できるよう予算の確保が求められます。

また、4/11現在、守谷市の5～11歳の接種人数は1回目が468人、2回目が110人とワクチン対策室より聞いております。その子どもたち全員に、その後体調に変化がないかを聞き取りをし、もし体調に変化が出たら、そのような窓口があることを予め伝えておくことが重要と考えています。

以上の点から、是非守谷市としてワクチン後遺症の事実を広く市民に周知し、市民の健康と命を守るべく決断し実行されますよう陳情致します。